

経済警察の検問の逃れるため
線路に捨てられた米を集める
鉄道員・写真・昭和館から



「おかしな話」
「おかしな話」
「おかしな話」

「おかしな話」
「おかしな話」
「おかしな話」

米も人も 粗末にする



発行所
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・
東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosi.rou@sosake.jp

「早春初しぼり試飲会」

こゆるりおもふ・ブログから



こゆるり個展でもおなじみ
集・西・楽サカタニの
イベント
「早春初しぼり試飲会」
に参加してきました！

選りすぐりの生原酒など
10種類の試飲に美味しいお寿司もついで
お得な試飲会
サカタニの試飲には魔法がかけられていて、
飲むと必ず買いたくなります
気付けばこゆるりも、
小雨降る中、2本も
酒瓶がついで帰るハメに
まあ、美味しいお酒は
幸せな気分になさしてくれます



途中、宮原春彦&佐々木ゆかの
「ロミオ&ジュリエット」の素晴らしい演奏もあり、
良いお酒と音楽に囲まれた
素敵なひと時を過ごすことが出来ました
川の流れるようになど、日本酒に合う
メドレーから、アンコールではビートルズから
こゆるりの大好きな明日に架ける橋などを熱唱！
聞き惚れました



試飲最後には酒谷義郎氏から
のスペシャルサービス！
八海山という市場には出回っ
てない1.8L、13000円の
大吟醸まで試飲させて
いただきました！
それはそれはうっとり酔いしれました。
大切な時に乾杯したいお酒です。

50回記念「朝粥食べて
おしゃべり会」は、京の
わらじ医者として「高名
な早川一光先生のお話を
お聞きした。(詳細別掲)
その中で、戦後昭和23.
24年頃の「米買出し」話
が出た。戦争末期からそ
の頃まで、米の配給も途
絶えがちで、日本中が餓
えていた。
当時は酒屋でも売る酒
がなく、箸・歯ブラシな
どが店に並べられていた。
番頭、丁稚さん達は兵役
や軍需工場へ行つたが、
私の行儀・躰けは店の人
と同じように祖母は厳し
かった。身体が弱く食が
細かった私が「おかしな
話」

を残すと「残すものは最
初から箸つけるな」「こ
飯粒は粗末にすると目が
潰れる」などと諭された。
今もその幼少児の言葉が
耳に残り、米粒は茶碗残
さない。食堂でも出され
た量が多い時は減らして
と頼む。
その私、現在はコンピ
ニを営んでいる。
今年で23年目に入った。
当初から悩んだことは、
戦中戦後の飢えを知るも
のとして、ご飯パン類を
ロスと見做すことだった。
ロスとは、まだ充分食せ
るものでも、お客さんが
食べられない時間を想定
し売り場から引き上げる
ことだ。ロスは以前は全
て産業廃棄物だったが、
最近の一部飼料や肥料に
再利用されている。(ら
しい)さりとて勿体ない。
今、世界的な不況の嵐
の中で「派遣切り」リス
トラが続いている。景気
の良い時には「金の卵」
も不景気になると捨てら
れる「人」が多くなる。
戦争中、兵隊と労働力
増加のための「生めよ増
やせ」と言う国策標語が
溢れていた。戦争が終わ
り人口増加を抑えるため
「産児制限」が勧められ、
昭和29年(1954)にサン
ガール夫人が来日し、産児
制限を説いたこともあっ
た。少子化のスタート。
今は、少子化担当大臣が
あり、自ら模範を示され
たようだ。又生めと言っ
た。食料や諸物資、人口も
でない地球も滅ぶ。

「いざなぎ」
わが社は、大蔵省(現
財務省)から酒類販売免
許と財務局の煙草販売許
可を戴き商売が出来て常々
有難いと感謝をしている。
今から10年前、鴨川提
で少年が飲酒補導され、
当社で購入したと疑われ
七条署で数時間取り調べ
られたことで、以後年令
確認を厳しくしている。
最近「未成年の飲酒
や喫煙」について、店全
体で「酒たばこ」の販売
で法違反が無いように更
に徹底して取組んでいる。
法違反は当社の命運を
絶つほど厳しく、罰金も
高額だ。よって、酔って
はならないと宴席でも一
切酒を口にしない。編集
者は煙草は止め吸わない。
ところが、酒煙草に関
わる財務大臣が、世界中
に酒の上で醜態を見せ
た。本人は風邪薬と少々
ワインをチャンポンの結
果と言いわけをする。
総理も友情あつく、首
切り(罷免)でなく切腹
(辞職)で済ませた。
これでは一体この国はど
うなるのだらう。「どん
つき」ならまだ救われる
が、どん詰まりか雪隠詰
めのよつだ。「李下に冠
死語になった。官では

ヨシイちゃんのひとりごと

誕生日が怖い

この文は2月13日(金)京都新聞「窓」欄に掲載された、満74歳のままでいたい「私の投稿」をヨシイちゃん風に代え書き加えをしました。

今年早々に誕生日が来ます。今までは、子や孫達が祝ってくれる嬉しい日でした。が、今年は少しも喜べないばかりか、むしろ「来んといてー」と大声で言いたいです。その日、否応なしに戸籍は満75歳、「後期高齢者医療保険制度」で、今も加入している政府所管の健康保険の被保険者から外されるからです。

誕生日の丁度一ヶ月前に、自宅に役所から後期高齢者保険の説明会の通知がきました。その翌日、会社宛に社会保険事務所から、私の「健康保険被保険者資格喪失届」が届きました。会社印を押し本人の「健康保険被保険者証」を同封して提出するようにの説明書が入れられてました。

前の分は「忘れてる歳を」後の分では、「味も素っ気無く情のないお役所仕事」で、社員から派遣社員に格下げされた気分がした。次は派遣切りで天国か地獄行きでしょうか。新聞社の投書はその夜に書いたのです。

零細な酒屋時代から、今も

職場として56年間の政府所管社会保険に加入してました。70才で公的年金受給者に

なりましたが、その後も、健康に恵まれ、「友の会員さん」もご存知のように、朝7時から夕5時過ぎまで、土日祝、盆暮も休まず仕事に参加しています。小額の給与と所得を得て、小額の源泉所得税と社会保険料も納めています。

人並みの仕事をし、税金を納めるのは、普通のサラリーマン同様ですが「保険制度」は年令で分別、社会保険から後期高齢者保険になると負担は高く処遇は低くなると聞いています。元気で生きて働けるころうじて74歳。このまま

に感謝し、少しでも社会に貢献していると胸を張り、納税の義務を果していることを誇りにして生きてきました。

「社会保険」とは働いている者と政府の契約の筈、保険金は会社個人半々で納めたのです。この国は、75歳以上の給料所得者に税金の納める義務は課しながら「保険制度」は別枠にしました。まるで健康でも働いてはいけない、高齢者が長生きをするのを迷惑と思っ

ているのでしょうか。アッ・ソウなんだ! 「長寿の国日本」は、「長寿が酷日本」に変身したのです。もう直ぐに来る誕生日は怖い! 今日(3月1日)は、まだかろうじて74歳。このまま

こんにちは、21世紀!(CM天気図) 天野祐吉

朝日新聞 2009年2月17日 ケメコ通信() Vol.2745 2009/02/24(日)転載しました。

100年に1度の大不況だ

という。 「欲しがりません、勝つまでは」の時代が戻ってきたみたいだね」と、戦争中の広告コピーを持ち出す友人もいる。が、これが100年に1度しかないようなでっかい地殻変動なら、そのエネルギーを利用して、20世紀の亡霊

とおさらばすることを考えたほうが、よっぽどからだにいい

生き続けたいと思つのです。先月22日に早々と「後期高齢者保険証」が送られてきた。左の可愛い(?)赤子が白髪頭になった勲章にしては薄っぺらなものであります。



母とヨシイちゃん74年前写真。母2年前亡した

写真説明 上の写真は、私の手元に有ったものでなくて、母の没後に、仏壇の奥から出てきたと、昨年母の一周忌に異父弟が呉れました。もう一枚、私の小学2年生の夏ころ母と写ったものもありました。再婚し横浜に行く前に撮ったものでしょう。私には、かすかに、知らない女の人と写真とりに行った記憶がありました。

この(生みの)母の存在を知ったのは満16才の時、そして、母と異母弟妹全員と会ったのは5年前です。その時から私の弟が3人。妹が4人の仲良しの長兄になりました。仲良きことは美しきなり

厚さ画用紙程度、切取線にそって自分で切り、保険証らしくした。

間社会に作り直すのに、いまほどいい機会はないんじゃないだろうか。 これまでCMは、20世紀的生活の実現をせよと推し進めてきた。20世紀に起きた欲望のビッグバンは、広告

がその引き金をひいたといつてもいいだろう。その反省をたもふまえて、広告が、とりわけテレビCMが、21世紀型生活のイメージリーダーになるかどうか。何度もいうよ

うだが、いまはそれが問われているときだ。 「欲しがりません、勝つまでは」ではなく、「せいたくは敵だ」でもなく、ましてや「産めよ増やせよ」なんてト

催していただいている方です。 京都産業大学・非常勤講師。 澤田さんは、約1800名が購読する「ケメコ通信」というメールマガジンを毎日発行。「ケメコ通信」の名前の由来は昭和6(1938)年に大ヒットしたザ・ターツの「ケメコの歌」の作詞の一部に携わっており、そこから由来している。 編集者も読者で毎日読み、又サカタニで年数回ライブを開

実篤

京都&東山 ぶらりピカリ

15

京の大仏殿・続 七不思議

今回は前号の続編

子どもの頃聞いた、耳塚の南側の民家(今は駐車場になっている)の大屋根の下に三角形の切り込みがあり、石川五右衛門が通る人に「銭」を投げたとか、抜け穴があるとかの話を出し出した。ネットで調べると「大仏殿の七不思議」の事だったよつだ。

五右衛門の衡器窓・(ほどこし窓?) 三棟の屋根 そば喰 地蔵 五右衛門の抜け井戸・とか諸説あるよつだ。方広寺の鐘は、豊国神社の北にある国家安康の梵鐘のこと。徳川家康が、鐘にある「国家安康君臣豊楽」の銘文が、家康に対する豊臣の叛逆の意志だとして、大阪冬・夏の陣を起し、豊臣家滅ぼした。鐘をつくとき淀君の幽霊が現れるなど、大仏七不思議が伝わっている。梵鐘は元々大仏殿内にあったが大仏殿がなくなり、今は日本三犬名鐘(重要文化財)



財)も明治時代まで野ざらし状態で捨て置かれていた。鐘楼は大正時代に再建され今に至る。の耳塚は過つて「とんからりん」に掲載しむといふ。唐破風作の額看板は井出正水の筆、招牌(のつれん)は佐々木志津摩の筆なり。其味ひ美にして、煎の湯けず灸(あぶら)に芳しく、浪花の虎屋饅頭と相伯仲す。遠近に名高く洛東名物の一なり。と書かれていた。先の戦争中、米

たので省略する。大仏餅の看板下に掲載した写真は昭和28年頃まで正面町に存在していた。「東山名勝図会4巻」に墨田(スミダ)某、大仏殿建立の時より此銘を蒙り売弘



大仏餅(墨田家)本町正面上る西側写真・文は史料京都の歴史・から引用

砂糖、小豆などが統制でこ餅屋商売が出来なくて終戦直後、店の一部で飲食店営まれていて、私はお酒を配達した記憶がある。その後は(昭和29年ごろ)(七不思議号に続く)

メタボな雀



(昭29?) 当時は結核の全盛時代で修道校と隣接地であることから、病院建設反対の声が上がりに運動が起った。それに私も参加、ビラまき、ポスター張り、演説会などに参加した。結核病棟はつくらない。庭は保存すること。の最終的取決めで運動は終わった。年月を経て、専売から東山武田と名は代わったが今の私には無くては困る病院。時の皮肉を感じながら、ふとガラス窓越しに庭を見ると池には鴨、猫がのそりと歩いている。そこへ鳥が飛んできた。雀だ。この鳥は昔々、米(稲)を食つ害鳥と常に田んぼから追われ数に住んでいた。痩せてチヨコマカしていた筈、今、庭に居る雀は、丸々と肥えている。両足(手?)揃えて歩く姿は変らないがいかにも体が重そうだ。追われず餌豊富で完全なメタボ雀になっている。こんな雀を「稲荷名物」のように焼き鳥にしたら酒の肴に工な。と残酷な発想が頭を横切った。Y・S

京阪七条交差点をめくって (19)交差点の電気

写真説明・七条大橋から見た七条交差点。提供元は、今秋「ギャラリー」集で予定されています。



以前「ギャラリー」集で開催の京阪特急写真展のとき、お見えになった方から「交差点部分の電気はどうなっているのか、先に開通した京阪電車が供給しているのか。」との質問がありました。即答する自信がなく京阪電車の方に尋ねてみました。

交差点部分の架空電車線、つまり線路の上の電線には+の電流がながれていますが、他の電鉄との交差点では井桁状部分原則としてデット、つまり絶縁状態になっているのだそうです。しかし七条交差点では市電、京阪共に直流600Vでしたから井桁状部分に京阪側から給電していた

理由は、京阪電車は大電流をパンタグラフから受電してしましますが、通電している架空電車線と絶縁区間の接続部分を通過する時、電気機器に異常電流が流れ故障するのを防ぐのが目的だったとの事。でもこれで市電も無電圧区間で停車しても再起動が出来て、京阪共々交差点を何ごともなく行きかいていたわけですね。完

2回目のクイズの答え
2月号「市電の系統」掲載写真は「何という停留所」を出したところでしょうか?
停留所名は「祇園石段下」が正解です。今「ローソン」の所に「八百文」が見えています。回答のお返事は淋しい!数で一人。間違いがお一人。全応募の方に景品を進呈致します。

酒屋で生きて 生かされて

第三十五話

3月15日・金と首

3月15日は2月号掲載小林多喜二の小説に「1928.3.15」、所得税確定申告締切日でもあります。私の人生大転換日でもありました。それは、個人経営の酒屋屋酒谷本店(店主は父)が資金繰りに行詰まり仕入先に「債権者集会」をお願いしたと忘れられない日なのです。

当時、私は商売を継ぐ気はなく、全く別方向の活動に加わり、家から離れていました。ある日父が店の商売のことと意見を聞きたいと連絡があり

店に帰り帳簿を見て驚きました。2年前から売上はガタ減り、赤字で資金も不足する状態でした。私は、今なら他の不動産や他の財産を全て処分すれば、七条の家は残るから以前の酒小売業(注:5年前)で生き残れると思うと考えを言いました。祖母にその話をすると「水に溺れたら素っ裸におなり」と言います。

父も腹をきめて、前日までに帳票の整理、商品在庫や家の権利書、屏風や置物、柱時計、衣類まで記入した財産目録を作成し債権者会議に差出し、「これが全財産で一切債権

者の方にお任せする」と債権者一同に申出ました。幾度かの会議の末、資本金500万円株式会社を作り、仕入先は半額出資、債務の半額は長期返済で応援しようという決まりました。

それには私が店の仕事に参加も条件の一つでした。

父は「酒卸業」を続けたいと言い、大口の債権者アサヒビールなどは応援条件として私の参加を求めます。結局、当時の活動していた組織の任務を外してもらい、仕事に参加することになりました。

最初の仕事は、決済日の近い「S銀行七条支店」と家を担保にした300万円借入返済猶予の交渉でした。

お酒の四方山話

日本酒の効果・五

肩こりや冷え性解消
肩こりは、血行障害が起きて筋肉に疲労物質や乳酸菌がたまること。冷え性は、末梢の血管まで血液が行き届かない状態になることです。鈍感な人を「血の巡りが悪い」と言い、俗に馬鹿につける薬は無いが正解で日本酒効果は無いです。

さて、血管の収縮は、血管の壁に分布している交換神経末端から分泌する、(ノルエピネフリン)というホルモンの作用で起こります。このホルモンに血管拡張を促す物質

株式会社設立は決まりましたが設立は酒免許変更で決済日より遅れるからです。

債権者の支援があると事情説明に銀行へ日参、担当行員、係長、支店長とも交渉するも担保物を処分をする聞入れられず、債権者にご用立てをお願いして決済をしました。

関西財閥系で厳しいこと有名な銀行は21歳の若造の交渉では信用出来なかつたので

「お金のないのは首の無いのと同じ」と思い知つた



た青年時代です。左の書類(写真)は、債権者団の支援で設立した会社、東山税務署に提出した免許申請書控えです。私の原点の様な書類で5年間大切の保管してきました。(注)戦時中から昭和47年代まで、酒業界は大蔵省に管理され、卸と小売は厳しく区分されていました。

編集者より

2月は第50回記念朝粥食べおしゃべり会。個人的には父の三十年祭、日数少ない月で作成就が遅れそうです。手配り分だけでも3月2日中にとがんばっています。ヤマト便でお届けの会員様には若干遅くなりましたがご了承下さい。

お詫び

2月号・本欄P4・1段目の平成4年は記述誤りにつき平成16年(2004)と訂正致します。

だといわれています。

やはり適量の日本酒。医学博士の関谷政雄さんは「長寿の人はほとんどがお酒を飲んでい」と説明します。

イヤなことはその日のうちに楽しくお酒を飲んで忘れてしまおう。同時にお酒を飲むことで交感神経が刺激を受けて行動的になり、何かをしようという意欲をかき立ててくれます。

明日へのエネルギーにつながる、やる気をおこさせてくれる効果もあるのです。完。以上引用
記事は(提供日本酒造組合中央会)

編集後記

この4月2日

「集西菜」は満5年になります。開店のドサクサに罹った「带状疱疹」の後遺症が、お前は初心忘れたらあかんと背中時に時々痛い信号をくれます。この仕事はモデルが無く、一から手探りでスタートしました。小規模店で、コンビニ・ギャラリー・酒専門店・貸会場を運営している所は他にありません。

コンビニ大店の日本に無いのですから多分世界に一つ?。だと思つていきます。歳とつてから家族も巻き込んでエライ仕事したと走り出してから後悔しましたが後の祭りでした。石の上にも3年と言います。多の皆さんのお力添えで、チョコッと先に明かりが見えました。会員さん、落語家、ミュージシャン他多くの方々のお陰です。有難うございます。

ご投稿のお願い!

「とんからりん」は超ミニコミ(発行部数286)で自家製ですが、「慢性原稿不足症候群」の薬。投書感想俳句等頂戴!

50回記念 朝粥食べておシャベリ会

を09/2/15開きました！



2月の朝粥食べておシャベリ会で50回を聴く会開催しました。回になり、その記念で、パンザイ人間多くのご参加を戴き盛會に(KBS放送毎土曜日)のパーソナリティ 終わりました。皆様のご支をなさっている早川一光先生のお話と、援を得て次は100回を目宮原春彦・佐々木ゆか(ロミオ&ジュリエット)指します。有難うございまエット)出演の懐かしい歌謡曲やフォーリした。相談役・酒谷義郎

2月15日、9時から楽々ホールで、ロミオ&ジュリエットで、ロミオ&ジュリエット 慮するな、昔してやったのだから、1の歌でお楽しみ、あと場所から、「目が近くなるのは、細かの移して朝粥」を食べてい 耳が遠くなるのは悪いことが聞 いただきました。 2を食べてい こえんでエエンや」など漫談の 2 ここまでは、お粥をつく能力 ような話に「ハイ」と大声で返 やお碗等の都合で何時ものご 事し笑いお聞きしました。 予約数、40名さまのご参加 最後には奥様から、手話で返 が進めました。 歌えると「ふるさとの歌」 10時30分から場所を楽々 終わりは全員で、面白く楽しく、 ホールに戻し、お粥抜きでお 為になるお話を下さった先 待ち下さった方々30名様も 生と奥様に大 参加いただいて早川一光先生 先生のお話を聞きました。 きな拍手が感 3 先生は大正13年(1924) 謝しました。 生まれ、会場に同年の方 有難うござい 下でした。他の方はは全て年 ました。先生、 20分立ち、動きながら青年 会も宜しくお のような情熱でお話下さいま 願います。



- | | | |
|--------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 2005・2 第1回～第6回
毎月2回・朝粥会開催 | 2006・10 第22回 酒谷義郎 | 2008・2 第38回 小中島諭一様
モーマリー合奏団 |
| 2005・6 第7回 堀切義郎様
狂言のお話 | 2006・11 第23回 松原あけ美様
モンゴル読み聞かせ旅行記 | 2008・3 第39回 出井豊二先生
はり絵について |
| 2005・7 第8回 桃谷好英先生
折り紙教室 | 2006・12 第24回 宮竹明弘様
懐かしの映画について | 2008・4 第40回 久保明彦様
鴨川と鴨川納涼床について |
| 2005・8 第9回 宮原春彦様
フォークソング | 2007・1 第25回 若手漫才なつつ様 | 2008・5 第41回 森本均様
自然と共生する家づくり |
| 2005・9 第10回 衣斐裕一様
ストレッチ講習 | 2007・2 第26回 アンサンブル京都
弦楽四重奏 | 2008・6 第42回 小西啓文様
中国新幹線事情 |
| 2005・10 第11回 川端普也様
ギター演奏 | 2007・3 第27回 吉田元比古様
これでいいのか日本の教育 | 2008・7 第43回 河村武明様
日本一無口な講演会 |
| 2005・11 第12回 松永俊治様
アメリカ土産話 | 2007・4 第28回 澤田好宏様
ケメコの歌 | 2008・8 第44回 金澤ひろあき様
日本とタイとの比較 |
| 2005・12 第13回 鎌田順子様
しの笛演奏 | 2007・5 第29回 梶宏様
人として一番大切な事 | 2008・9 第45回 山田健司先生
高齢化と地域社会 |
| 2006・2 第14回 「一期」の会
朗読 | 2007・6 第30回 沖中忠順様
京阪電車の話 | 2008・10 第46回 萩原三義様
自分で出来る！東洋医学的健康増進 |
| 2006・3 第15回 音の風
ピアノ・サロン デモ | 2007・7 第31回 菜の花合唱団
コーラス | 2008・11 第47回 南博史様
あなただけのミュージアムのづくり方 |
| 2006・4 第16回 衣斐裕一様
マッサージ | 2007・8 第32回 福井和雄先生
ことばの鎖 | 2008・12 第48回 小野晴久様
私を変えた2つの出来事 |
| 2006・5 第17回 市田節子様
おじゃみ | 2007・9 第33回 西垣正信先生
演奏と楽器について | 2009・1 第49回 川越森雄様
松下幸之助とその成功を支えた
むめの夫人 |
| 2006・6 第18回 早川嘉美様
日々是好日思いの心は人生を拓く | 2007・10 第34回 村岡省子様
京都ジュニア検定について | 2008・2・15 第50回・
朝粥食べておシャベリ会50回記念
ロミオ&ジュリエット
早川一光先生 講演
朝粥食べておシャベリ会は
毎月第3日曜日・朝9時開催です。 |
| 2006・7 第19回 井上朋子様
心が目覚める生き方 | 2007・11 第35回 山本理江様
伝統遊びで育てる運動能力 | |
| 2006・8 第20回 榊田出先生・りんりん | 2007・12 第36回 池内一博様
光源氏を追いかけて | |
| 2006・9 第21回 音の風
ピアノ・サロン デモ | 2008・1 第37回 杉若恵亮様
素晴らしきインド | |

アローイ 十二・金沢ひろあ

8月4日。祭の後でお別れが来ました。全校生徒といしょにグラウンドに並びます。タイの学校は朝8時頃より始まります。日本の高校生は大半遅刻ですね。まず、グラウンドに

整列し、タイ国歌を歌い、国旗を掲揚します。下校時も整列し国歌を歌い、国旗を降ろします。これを毎日行います。お別れの式が終わり、私達にお守りが渡されます。この地方の高僧の像だそうで、大切に

持っているの幸せになるそうです。ただし、ズボンのポケットなどに入れるのはもつてのからだそうです。

あやうく「もつてのほか」をやりそうでした。お別れの式が終わり、バスに乗りました。大きな事が1つ終わったような気がしました。

バンコクへ入ると、また高速道路があります。車の渋滞。そして高層ビル。同じ国の風景かな?今日の朝まで、何か夢を見ていたような気分です。バンタンチャナ校の校長先生も、バンコクへは3回しか行ったことがないと言っていました。タイの国の教師は国家が採用し、赴任先も国家が決めるしくみだそうです。タイの国は北はミャンマー国境から、南はマレーシアの手

前まで、南北に長い国ですの、どこに赴任されるのわかりません。校長先生も、いろいろな地方を回って、最終的にふるさとダークントットへ赴任を希望して認められたといえます。中には、ふるさとへ帰れない人もいるのでしょ

うか。バンコクのチャオプラヤー川(昔はメナム川と言っていました)が、そいの中国系のレストランに入って昼食です。ここでEDFスタッフの人たちとお別れです。

その後、川船に乗り、ワット・アルンへ。ワット・アルンは「暁の寺」という意味です。三島由紀夫が、その題で『豊饒の海』の第3部の舞台にしました。

輪廻転生を繰り返した魂が、タイ王妃月光姫に転生するという話です。ワット・アルンは、今のチャ

クリー王朝の1つ前のタンブリー王朝の中心のお寺で、中国の陶器を壁に貼って装飾としています。このワット・アルンのところ「おみやげ、ど

という日本語を、おみやげ物屋のおじさんが言いました。それを聞いた時、何やら夢から覚めたような心地になったしまいました。

「おおきに」の 調子外れの 暑き寺 ひろあき

アローイ 十三・金沢ひろあき

八月五日、バンコクを離れ、チェンマイに着きました。

チェンマイでは、聾学校との交流とチェンマイのロータリークラブの人達との交流が待っています。チェンマイはタイ北部の国境に近い町。

古い王朝スコタイ王朝が起こった地方です。チェンマイとはタイ語で「新しい町」の意味だそうです。スコタイ王朝の頃、「新しく作られた」町ですが、歴史は古いのです。

日本と言えば、飛鳥や奈良といった感じですが、そのおもかげを残した城壁と堀が残っています。また、建築現場の足を竹で作っています。女性の金属製の首飾りの形も、竹の葉の形です。竹が多い町なのでしよう。チェンマイで最初に訪れたのは聾学校です。その聾学校に着きました。飲み物とお菓子が出てきました。飲み物には黒蜜がたっぷり入っています。

す。その中に竜眼も入っています。添えてあるお菓子もすばらしく甘いのです。お互い偉い人どうしは英語でスピーチしようとしています。タイ人の通訳さんは、日本語とタイ語しかわかりません。英語が訳せなくて困っています。だから自然とお互い、日本語とタイ語に戻ります。手話のできる日本側の生徒がいたので、手話を試みます。

日本とタイの手話はかなり違うらしく、これまたとまどっています。その後、泊まったホテルは、チェンマイ・メイ・ピン・ホテル。歌手のテレサ・テンさんが亡くなったホテルです。あの時、死因をいろいろとりざたされましたが、結局よくわからない話です。

しかし、あの事件で、ホテルのイメージ回復、大変だったんでしよう。プール付きで、西洋人の観光客が多いです。生徒らで「泳ぐんだ」と泳いでいるのが3人です。元気なもんです。

イスラムの女性客は水着姿になれないので、暑そうな姿でプールサイドにいます。西洋人はプールシドの椅子に、水着姿でのんびりと本など広げています。ここで一句。水着から きれいな静脈 透けている ひろあき

ところで、タイでは中国系が経済の中心になっています。チェンマイのロータリークラブの8割の人が中国系だそうです。チェンマイの繁華街の店も中国系の店が多いのです。バンコクも同じ傾向があるようです。中国系とインド系の人たちは商売上手です。

日本人は商売では負けてしまっているので、東南アジアでは力が伸びていないようです。そのかわり、荒地を開発するところなどは、日本人がうまくやるそうです。同じ「努力とねが違うようです。

夕方にはチェンマイロータリークラブとの交流会。チェンマイの高校生や大学生と同じテーブルに座って交流しました。日本語のうまいタイの女の子が隣に座ってくれ

ずいぶんラッキーでした。聞けば山形に留学していたとのことですが、来年また立命館大学に留学する予定といいますが、「日本語は漢字が難しく、本当に分かりません。」彼女はいいいます。うーん、中国系の人でもそうなのかな。もとは、君たちのご先祖様が、発明した文字なんですけど。アローイ 完 「アローイ」は十三話、「完」著者の金沢ひろあき先生感謝いたします。誠に有難うございました。



ワット・アルン